

今日は根性論のはなし

令和も5年目となり、平成初期生まれの私はお兄さんと自称するのが憚られる年齢になってきました。さて、根性論といえは、平成を通り越して昭和の香りがする言葉ですが、そのエッセンスはいつの時代になっても心に留めておくべきものだと思います。根性だけでは解決できないことは多いですが、逆に根性をまったく、あるいはほとんど発揮しないで達成できることもまた少ないのではないのでしょうか。例えば、「家では勉強できない」と思っているとして、「だから塾に来て勉強する」というのは有効な方法ではありますが、同時に「家でも勉強できるように工夫し、頑張ってみる」ということも考えてほしいのです。どんな場所でも集中して勉強に取り組めるということは、試験会場のような普段と違う場所でも力を発揮しやすくなることにもつながります。高校生活を通じて、皆さんそれぞれが持つ「根性の苗」を少しずつ育てていってほしいと思います。〔酒井昂佑〕

2月・3月のおもなスケジュール		
2/25	土	2022年度授業終了 公立入試直前ゼミスタート(～3/5)
3/4	土	2023年度新年度開講
5	日	やる気UPコンサート
10	金	公立高校一般入試 サンTV高校入試解答速報
11	土	新高1やる気UP激励会
12	日	新高1保護者会(13:00～14:30) 自習室開室(12:00～18:00)
17	金	公立高校一般合格発表
19	日	自習室開室(12:00～18:00)
21	火	春分の日〔授業あり〕
24	金	3月度授業終了
25	土	春期講習スタート

※4/4(火)は公開テストが予定されております。
※4/5(水)から4月度の授業がスタートします。

なないろのものさし

自分の中で大切にしているものやこだわりを持っていることに対して、他者からとやかく言われるのが嫌です。心の中で「嫌だなあ」と思うだけで、表情には出しません(少しは出ているかも)。そういう時に限って相手はしたり顔で続けてきます。そんなことがよくあります。そのたびに、「ああ、自分のものさしと相手のものさしはちがうんだなあ」と思います。私とあなた、彼と彼女、大人と子供、みんな違うものさしを持っているのだから、お互いに相手のものさしを知るところから始めればいいのに。自分のものさしを振り回して、相手のものさしをへし折って、「勝った」と思って満足して、そこに何が生まれるのだろうかと思いに思います。〔金子祐太〕



今年も特進館受験生は夢を叶えるために、大空高く羽ばたきます。どうかみなさん、ご期待ください!

1月の“自習王”決定!

★中学生の部
中3 出口輝人 **176.3 時間**
★高校生の部
高3 和泉綾花 **168.8 時間**

まわりに目を向ける

昔読んだ絵本で、きりかぶの話がありました。立派な木でみんなの役に立っていたのに、きりかぶになっては役に立つことはできないと落ち込むところから話が始まります。しかし、たくさんの動物たちがきりかぶに話しかけ、きりかぶにちょっとしたお手伝いをたくさん頼みます。こんな自分では価値がない。そう思っている、必要としてくれる人はきっとそばにいます。〔大西夏琳〕

3月分
学費の振替

2月27日
(月)

高校部：新年度教材費を3月分学費と合算でお振替させていただきます。詳細につきましては明細とお配りしております年度初期費用一覧をご確認ください。

きれいな水に、魚は住めない

ちょっと前のコラムで、「ストレスがある人は、幸せな人」というお話しをしました。日本の養殖魚が天然魚並みに質の良い理由は、漁網にわざと天敵を入れて、あえてストレスを与えるから…という内容です。真珠は、貝に入った異物のおかげでできる産物であるという話も…。

ところでみなさんは、「海」といえばどんな風景が浮かびますか? 日本海の荒波、それとも南太平洋の島々の透き通った海でしょうか? おそらく、「青くて透明(マリンブルー)の海」を浮かべる人が多く、「濃い緑色の海」と答える人は少ないと思います。

日本のおいしい魚の多くは、瀬戸内海のような濃い緑色の海で捕れます。お世辞にもきれいとは言えないこの緑色の海の水は、魚にとって栄養価の高いプランクトン類をたくさん含んでいます。加えて、山地に近い瀬戸内海などは、川から流れてくる豊富なミネラル分にも恵まれ、おいしい魚が育つ条件がそろっている…というワケ。反面、南太平洋のような透き通った海は、「海の砂漠」のようなもの。魚たちにとっては、生きるのが過酷でツラ～い場所だそうです。

人生の中では、きれいなものより汚いものを見る機会が多い。悩みのない人より、悩める人が多い。だからこそ、人はたくましく成長できるのだと思いませんか? 〔北村昌弘〕



代表北村の独り言

この時期、証明写真を撮ることがよくあると思います。撮影時に膝上に白ハンカチを置いてください。ハンカチがレフ板の代わりになり、光が顔を下からも照らしていい写真が撮れます。

養父に「まんだの湯」という合格の日帰り天然温泉があります。一度いかがですか?

編集
後記

まだまだ寒いのに早くも花粉の飛散が始まったようです。私自身は花粉症ではないのでそれほど気にならないのですが、敏感なひとはすぐに反応するものですね。くしゃみが止まらなくなり、眼もかゆくなり…見ていて本当につらそうです。コロナ禍で定着したマスク着用は、個人判断というなかなか難しい基準のもと緩和されるようですが、その一方で花粉症のひとはマスクが必須な季節になるため、なかなか市中のマスク人口は減りそうにないなあと感じております。